



上菅田中学校だより

第 号 令和元年10月1日発行

発行責任者 校長 関 恭雄

上菅田中学校 学校教育目標

- ◆学びを深め、実践力を養う
- ◆互いを認め、自分を伸ばす
- ◆豊かな心と健康な体をつくる
- ◆地域の一員、国際社会の一員であることを自覚し、行動する

上菅田小学校地域防災拠点訓練に野球部員が参加しました

9月1日に上菅田小学校で実施された地域防災拠点訓練に上中野球部1・2年生が全員参加し、避難者カードの記入、物干し竿と毛布を使った簡易担架づくり、段ボールベッドづくり、組み立てキットを使った簡易更衣室づくり、緊急給水栓で汲んだ水の重さ体験などに取り組み、中学生の体力と積極性と勘の良さを発揮し活躍しました。



野球部は、9月29日の区大会で準優勝し、横浜市大会出場を決めました。

地区懇談会～段ボールジオラマを使った防災学習

9月19日、地域や学区小学校の代表の方々と本校代表生徒・代表職員が参加し、PTA校外委員の皆様との協力のもと地区懇談会が開催されました。今年はいっぱいざいだんほうじん一般財団法人防災ジオラマ推進ネットワークの上島代表理事を講師にお迎えし、段ボールを使った地域の立体模型（ジオラマ）づくりを通して防災・減災について学びました。講義やジオラマづくりのあとのグループワークも活発に行われ新しい発見や学びのある有意義な懇談会になりました。



☆懇談会の振り返り（参加者感想文より一部抜粋）

住んでいる場所の周辺を知っておくことと、地域の方とコミュニケーションをとったり、食料、水なども用意しておくことが大事だと思いました。自分たちでジオラマを作ってみると、町の危険に気づいたり、土地の高さがそれぞれ違ったりして危険な所と危険じゃない所を発見することができました。（1年生）

私は初めて地区懇談会に出てみて、地域の方とあまりコミュニケーションがとれていなかったということがわかった。地域の方たちとの交流がなければコミュニケーションや安否確認がとりづらいので、上中が避難所になったら生徒たちも一緒に避難訓練をして万が一の時に備えて交流してはどうかと思った。（2年生）

同じ災害でも種類によってどんな場所が安全かが変わってくるので、ある程度この町の地形を知れたのはとてもいい経験になりました。大災害の時は地域の方々との連携がとても大切になってくると思うので、今回地域の方々と様々な会話や活動を通して、どんなことを私たち中学生に手伝ってもらいたいのか、助けてほしいのかという具体的な話までして交流を深められたので、この会に参加できて良かったです。（3年生）

自分自身が受け身ではなく、参加できるグループワークが大変勉強になった。中学生の皆さんが自分だけでなく、地域に住む人々のことを考えて防災についての意見を言えていたことが印象に残った。（地域の方）

自分の地域のことを知れて良かった。また、中学生が頼りになるなあと思った。（地域の方）

全国学力・学習状況調査結果報告

平成 31 年 4 月 18 日に全国の中学 3 年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の集計結果が文部科学省より届きましたので報告します。

平均正答率(%)	国語	数学	英語
上菅田中	68	53	56
横浜市(公立)	73	60	60
神奈川県(公立)	73	59	59
全国(公立)	73	60	56

*今年度は、全ての教科で、知識と活用を一体的に問う問題形式になったため、昨年まで示した AB 区分はなくなりました。また、今年は英語(スピーキングを含む)が初めて実施されました。

今年度は、平均正答率が英語以外、全国平均を下回る結果になりました。特に国語では、短答式の問題に、数学では、記述式の問題に課題があることがはっきりしました。

また生徒質問紙の解答状況から以下の事柄が読み取れました。

*自己有用感について

・「自分には、よいところがある」と思う生徒が多いが、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と思う生徒も多い。

・将来の目標や夢を持つ生徒の割合が昨年度より多くなっている反面、持てない生徒も多い。

○先生は、良いところを認めてくれていると思う生徒が多い。

*規範意識について

▲学校の規則を守る意識が年々低くなっている。

▲「いじめ」をいけないと考える生徒が、県、全国にくらべ、非常に低い。

*生活習慣について

・朝食はしっかり食べている。起床時間が不規則。

*学習習慣について

▲約 25%の生徒が家で、自分で学習計画を立てられない。

・勉強時間が多い生徒も多いが、全くしない生徒も多い。

○読書時間は多く、学校図書館にもよく行く。



*その他

・失敗を恐れず挑戦する生徒も多いが、挑戦を最初からしない生徒も多い。

○発表をする機会では、自分の考えが伝わるよう工夫している生徒が多い。



*国語への関心等

・国語は好き、大切である、よくわかる、という生徒が多い反面、嫌い、よく分からないと感じている生徒も多い。

*数学への関心等

●数学は嫌い。授業内容もよく分からない。数学は大切だと思っている生徒も多いが、そう思わない生徒も多い。説明を求める問題について、途中であきらめた生徒や全く解答しなかった生徒が合わせて 56%いる。

*英語への関心等

○英語はどちらかというとき好き。英語はとても大切で、授業もよく分かる。

*今回の結果から、各教科、基礎的な知識・技能の習得に向けて、より一層の改善が必要であることがはっきりしました。また、生徒質問紙からも生徒の現状の課題が数多く読み取れました。今回の結果をさらに分析し、基礎的な学力、及び学習習慣の定着、学習意欲の向上に向けて、指導法の工夫、授業改善を進めていきます。また、規範意識の向上を課題として、道徳教育や行事などの特別活動を充実させ、子どもたちが安心して、生き生きと生活できるよう、学校の教育環境を整えていきます。